



令和6年度「初めての授業参観日」の様子

4月27日(土)、今年度初めての「授業参観日」を行いました。この日は、朝から雨模様で、天気を心配していましたが、何とか午後からの授業参観が始まるころには曇り空となっていました。それぞれの学年では、担任の先生が、子どもたち一人ひとりが生き生きと学習できるようにと、学習内容を工夫していました。

1年生は、生活科「あさがおのたねをまこう」の学習をしました。最初に、「あさがおのたね」の様子を観察しました。その後、家の人にも手伝ってもらいながら一緒にあさがおの種を植えることができました。最後に、それぞれがあさがおに名前と「いっぱい花をさかせてね」などの願いをカードに書きました。本日植えたあさがおの種が、これからどのように大きく育っていくのか楽しみます。

2年生は、算数科「じこくとじかん」の学習をしました。「じかん」のあらわし方について、生活の中で何気なく使っている「じこく」のあらわし方について、問題を解きながら一人ひとり真剣に学習する姿が見られました。「じかん」と「じこく」のあらわし方の違いやそれぞれの意味の違いについて考えることができました。

3年生は、理科の「春になったよ」の学習をしました。身のまわりの生き物や草花を観察し、タンポポやノースポール、アリなど、自分たちがタブレットで写した写真を使って、春の様子について発表していました。春になって暖かくなってきたことや、自分たちの周りには、たくさんの花が咲いたり、生き物がたくさん活動し始めていたりすることについて気付いていました。

4年生は、社会科「関心をもって都道府県をおぼえよう」の学習をしました。地域性がわかるような写真や地域の特産物などの様子から、それぞれがイメージした都道府県を発表していました。併せて、どうしてその県と答えたのかについての理由も、伝えることができました。都道府県について、その県ならではの特色に関心を持ち、楽しみながら学習する子どもたちの姿が見られました。

5年生は、国語科「漢字の成り立ち」の学習をしました。漢字の成り立ちを表した漢字カードを使って、漢字がどのようにできたのかについて学習することができました。子どもたちは、カードに示された漢字がどんな漢字なのかそれぞれにイメージし、クイズ形式で発表しながら、漢字の成り立ちや意味について学習していました。

6年生は、算数科「多角形と対称」の学習をしました。まず、正三角形や二等辺三角形、直角三角形などの三角形、また、正方形や長方形、ひし形などの四角形について「点対称か、線対称か」について調べました。さらに、正三角形や正四角形、正五角形などの正多角形のそれぞれの特徴を調べ、「点対称や線対称」になる正多角形の規則性について学習することができました。



<1年生>



<2年生>



<3年生>



<4年生>



<5年生>



<6年生>

保護者の皆様には、授業参観・PTA総会、引き続き、学年部会、各専門部会へのご参加、ご協力大変お世話になりました。これから1年間、吉井小学校の様々な教育活動に皆様のご支援やご協力をよろしくお願いいたします。

今後、学校だよりやホームページ等でも、子どもたち一人ひとりが輝く活動の様子やPTA活動の様子についてもたくさん紹介していきますので、よろしくお願いいたします。